

メンタル不調者対策

～予防・休職・復職のポイントを産業医が解説～

(株)フェアワーク 代表取締役会長 吉田 健一

■従業員と企業ともにメリットのある対応を

新年度に入って職場が変わり、環境に適応しきれずに限界を来したり、緊張がゆるんだりしたときに「こんなはずではなかった」「どっと疲れが出て何もかも面倒で嫌になった」「会社に行けない、もうがんばれない」とメンタル不調に至る従業員が顕在化しがちな5月。メンタルクリニックのハードルが低くなり、従業員たちが気軽に医療機関に通えるようになった一方で、「この通り診断書を持参しましたので休職します」と、やはり気軽に休職を申し出る従業員に唖然とする人事担当者もいるかもしれない。働く人々の健康重視およびコンプライアンス遵守は当然ながら、その対応には従業員・会社ともに正しい知識を得たうえでの判断が望まれる。「頼るべきサポート機関はどこか」「本当に休職まで必要な状態なのか」「休職に伴う負担・不利益は何か」等の「ヘルスリテラシー」を健康な状態のときにこそ周知したいと、精神科臨床医かつ豊富な産業医経験を蓄積している本稿著者は提案する。人事担当者の立場からも、具体的な対応プロセスを知っておくメリットは大きいはずだ。(編集部)

CONTENTS

- No. 1 「休職は気軽にできる？」
昔と今の認識の変化
- No. 2 クリニック乱立時代に必要な
「ヘルスリテラシー」
- No. 3 経済負担や治療プロセスは
全従業員が知っておくべき
- No. 4 企業と患者の双方に有益な
メンタルヘルス不調の予防
- No. 5 クリニック・診断書の見極め方
- No. 6 人事担当者取るべき
コミュニケーション
- No. 7 安易な休職を抑制する
企業カルチャー変革
- No. 8 いきなり職場復帰ではなく
「リワーク」から
- No. 9 リワークの種類・費用と事例

■吉田 健一：

日本医師会認定産業医・精神科専門医・精神保健指定医。1999年千葉大学医学部卒業。千葉県がんセンターと千葉県精神科医療センターの医長を経て医療法人社団惟心会理事長。参議院・国土交通省ほか上場起業など50以上の団体で産業医を経験、衆参両院や中央省庁にて法定ストレスチェックを受託。2019年株式会社フェアワークを起業。健康経営にフォーカスした組織サーベイ「FairWork survey」を開発し、2021年に経産省後援の「HRテクノロジー大賞」にて注目スタートアップ賞を受賞した。現在はオンライン社内診療所サービスに注力している。

■株式会社フェアワーク

- 住所：東京都中央区月島1-13-6 ウェルネス月島4階
- TEL：03-5534-8320
- URL：https://fairwork.jp/

